

ジェンダーギャップ解消プロジェクトについて

1 設置の目的

職場や地域、家庭などあらゆる場面におけるジェンダーギャップの解消に市を挙げて取り組み、女性が自らの個性や能力を存分に発揮できる社会を構築することで、まちの活力を生み出し、本市の持続的発展につなげることを目的とする。

2 進捗状況

4月	○ 国の「地域働き方・職場改革ネットワーク」に参加 国と連携し、「魅力ある働き方・職場づくり」を起点とした地域社会の変革に取り組むため、68自治体（24県・44市町村）が参加。本市は、道内唯一の取組参加自治体となった。
5月	○ ジェンダーギャップ解消プロジェクトの発足 市長をリーダーとし、両副市長を副リーダー、市民部長、市民部次長、企画部長、総務部長、財務部長、保健福祉部長、子ども未来部長、経済部長、生涯学習部長、学校教育部長を構成員とする部局横断チームを発足。 ○ プロジェクト会議の開催 取組みの背景や目的、本市のジェンダーギャップの現状を共有し、令和8年度の戦略策定に向けて具体的な施策を検討することとした。
6月	○ 幹事会の開催 プロジェクトの構成部局の課長職が幹事として参加。令和8年度の戦略策定に向けた具体的な取組みの検討に伴い対象事業の洗い出しを行うこととした。なお、参加幹事から女性および高齢者の多様な働き方に関するアンケート調査の結果が提供され共有した。
7月	○ ジェンダー平等推進アドバイザーの委嘱 本市におけるジェンダーギャップ解消の推進等について専門的知見から支援、助言を得ることを目的とし、本市の政策アドバイザーである株式会社カレイディスト代表取締役兼CEO 塚原 月子氏に委嘱。 ○ 企業向けセミナーの開催 キックオフイベントとしてジェンダーギャップ解消アドバイザーを講師に招き、企業向けセミナーを開催。（105名参加/100名定員）
9月 (予定)	○ 学生向けワークショップの開催 戦略策定に向けて、高校生・大学生等が、性別にかかわらず希望するキャリアやライフスタイルを実現できる未来像を描き、その実現に向けたアクションアイデアを提案するなど、若者の声を聴取する。

(今後の予定)

適宜、セミナーやワークショップで意識の醸成を図るとともに、プロジェクト会議および幹事会を開催し、戦略策定に向けた取組みを進める。